

秋の森チャレンジデー

趣旨：豊かな森の中で、子どもたちが散策をしたり、森のことを学んだりすることとおして、自然への興味関心や体力を高める機会とする。

期日：令和3年10月17日（日）

会場：帯広の森・はぐくむ（北海道帯広市南町南9線49番地1）

人数：350名

【内容】

主に幼児や低学年の児童を対象にした自然体験型のイベントであることを踏まえ、自然の家が担当した体験コーナーでは、自然の中での運動の楽しさを感じてもらえるように、「忍者」をテーマにした運動にチャレンジするコーナーを4か所に設営した。各コーナーで集めたスタンプを押したカードと引き換えに、「体験の風をおこそう」の文字が入った腕輪タイプのラバーバンドをプレゼントした。

秋の森 チャレンジデー



ゴヨウダゴヨウダ



馬といっしょに森づくし

森の中にある、さまざまな体験コーナーにチャレンジ！
全て野外で行う、自主体験型のイベントです。



ミニ木こり体験



はぐくみチャレンジ

2021年

10月17日（日）

10:00～15:00（昼休み12:00～13:00）

※昼休み中、一部の体験は休止します

主催：帯広の森・はぐくむ、独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立日高青少年自然の家 共催：帯広市企画・運営・協力：「体験の里」日高から体験の風をおこそう運動実行委員会、帯広の森づくり活動団体有志、メスボールスタイル、帯広の森ファンクラブ、みどり花のセンター
問い合わせ：〒080-0856 帯広市南町南9線49-1 ☎0155-66-6200 ✉info@haguku-mu.net



～各コーナーの内容～

- 忍法「まきものはこび」（障害物走）
- 忍法「しゅりけん」（円盤投げ）
- 忍法「しろのぼり」（大型木製遊具）
- 忍法「つなわたり」（スラックライン）

【成果】

- 法人ボランティアによる自主企画事業として、法人ボランティアが自然の家出展の4コーナーのうちの2コーナーを企画・運営した。実際にコーナーを運営することで、ボランティア活動のやりがいや気づきをたくさん得ていた。
- 受付では、「体験の風をおこそう」や「早寝早起き朝ごはん」など、保護者向けに啓発資料を配付し、実行委員会の活動について広報することができた。
- 十勝教育局社会教育指導班、ネイパル足寄（道立青少年体験活動支援施設）に運営協力をいただき、今後の事業に向けた連携実績を挙げる事ができた。

【課題】

- 来場者への対応で、同じ子が何度も受付に来た場合や、スタンプを押すタイミングなどを事前に決めておくべきだった。次回に生かせるように事例と対応案を残したい。
- 屋外イベントでは、雨天や低温を見越して、物品及びスタッフの服装を十分に考えて準備するようしていきたい。